



社員の皆様へ

エクソンモービルは「地球温暖化対策の妨害をやめて、再生可能エネルギー事業へ転換を」

アメリカ、テキサス州の本社で5月28日に開かれるエクソンモービル社の株主総会にあたり、グリーンピースは世界各国で、このメッセージをお伝えしています。

【危険な気候変動はすでに起きています】

世界の第一線の科学者達から成る国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、地球温暖化は人為的に起っており、もしもこのまま対策がなされなければ、環境や人の健康影響は甚大になると警告しています (<http://www.env.go.jp/council/06earth/y061-01/mat02.pdf>)。こうした中、日本は京都議定書を批准し、またシェルなどの巨大石油会社でも再生可能エネルギーの将来性に気付き、投資を始めています (<http://www.stopesso.com/why.php>)。

【エクソンモービル社が世界の温暖化対策の足をひっぱっています】

アメリカのブッシュ政権は、世界最大のエクソンモービル社を始めとする巨大石油会社の強力な働きかけによって、京都議定書から離脱を決めてしまいました。また、エクソンモービル社は、地球温暖化が起きていることさえ否定しており、今や世界4大石油メジャーの中で最も認識の遅れた会社になっています。 (<http://www.greenpeace.or.jp/campaign/climate/documents/exxon10years.pdf>)

【地球温暖化防止のため、今すぐ方針転換を】

地球温暖化によるとり返しのつかない事態を避けるため、エクソンモービル社も一刻も速く化石燃料への依存をやめ、再生可能エネルギー主体の経営方針へと転換していくべきです。昨年の本社株主総会でも、再生可能エネルギーの推進に関する将来設計をエクソンモービル社に要請する株主決議が、株主投票で20.3%を獲得したことを思い出してください (<http://www.greenpeace.or.jp/campaign/climate/press/2002/200205302.html>)。これは本社の株式で550億ドル分〔約6兆8000億円〕に相当します。

【日本のエクソンモービルの皆さんへの要望】

エクソンモービルにとって日本はアメリカに次ぐ第二の市場。日本で事業を行うエクソンモービル有限会社、東燃ゼネラル石油(株)の皆さまに要望します。

日本の社員の皆さんからも、エクソンモービル社が温暖化対策の妨害をやめ、再生可能エネルギーの供給へと方針を転換するよう、アメリカの本社へ意見を伝えてください。

エクソンモービル(有)に対する日本の市民の意見を知ってください：

エクソンモービルへの日本の市民の声がグリーンピース・ジャパンのサイトに掲載されています。

<http://www.greenpeace.or.jp/campaign/climate/esso/message.html>

このURLにアクセスして、日本で消費者、株主(東燃ゼネラルの)、中学生から大人まで、さまざまな人たちが御社にお送りしているメッセージをぜひお読みください。

GREENPEACE

お問合せ：グリーンピース・ジャパン 電話 03-5338-9800 Fax. 03-5338-9817

東京都新宿区西新宿 8-13-11 N・Fビル2F ホームページアドレス：<http://www.greenpeace.or.jp>